

## 『「未来森(とわのもり)」森づくり』プロジェクト進展中!

最近いろんなところで「森」が注目されてきています。その要因は地球温暖化防止に向けた取組が活発化してきたことや、土砂災害が頻発しその原因の大半が荒廃した人工林にあることがわかってきたこと。また、海や川は良くも悪くも森に影響を受けていることが注目され始めたこと。森に捨てられている木質系のバイオマスの有効利用しようとする活動の高まり等によります。



森に入ってみると、人工林の大半が下層植生も少ない荒廃森林になっており、「緑の砂漠」と呼ばれたりしています。

森林は林業という産業面だけではなく、水源かん養面、自然環境や生態系保全面や災害防止面といった重要な機能を有しており、高知県では全国に先駆け「森林環境税」を導入し、県民全体で森の整備を支えていく体制を整えました。

いの町でも、森林環境税を活用した事業を昨年度から導入し、森の持つ多面的な機能を学習しながら「森づくり」を実践する活動が本川地区の未来森(とわのもり)と名付けられた町有林で始まりしました。題して『「未来森(とわのもり)」森づくり』プロジェクトです。当面は産業面(林業と交流)と環境保全面の機能を両立させる森づくりを目指しています。プロジェクトでは林業の各工程をグリーンツーリズムのメニューとし、参加者に楽しんでいただけるように工夫しています。

工程は「①道をつける」「②伐る」「③出す」「④挽く」「⑤使う」です。

昨年は①として、山にやさしく土砂流出や災害が発生しにくい大正町方式の近自然作業道を開設しました。会員はコンセプト、施工方法について学習し、完成式のシンポジウムに参加しました。その様子は、高知新聞(2006.2.26付け)でも紹介されました。

②として、毎月間伐を実施し、初めての方にもできるように指導方法を徹底し、全国的にも有名な「鋸谷式間伐」を実践しています。みんなと一緒に緑の中でかく汗は“快汗”です。

③として、林内作業車による安全な搬出作業を体験しました。最近では林内作業車と簡易架線の組み合わせによる搬出も実験的に実施しています。随時講習をおこなっており、みんなすぐに習得されています。

④⑤として、他の箇所でも実施された、搬出した材を移動式製材機で挽き、木工教室で加工するというデモンストレーションが好評で今後も実施していく予定です。

また、これらの内容は小規模な林産現場で安価に安全に搬出して利用することを目指しており、小規模な林家の方には参考になるのではないかと思いますので、興味のある方の参加をお待ちしております。

この活動に参加された方にはNPO法人から、いの町内の産品と交換ができる“モリ券”という地域通貨券＝地場産品交換券が配布(1回一枚)されます。これは森づくり活動が少しでも地場産業に貢献できるようにした仕組みで、参加者の楽しみの一つでもあります。(地場産品の提供者も募集しています)



推進は地元住民や行政(本川総合支所産業建設課)、技術指導はNPO法人土佐の森・救援隊等が協働して行っています。(いの町グリーンツーリズム研究会体験活動部)



### 県民手帳予約受付中!!(お申し込みはお早めに)



ただいま、来年の県民手帳(2007年版)購入予約申し込みを受け付けています。暮らしやビジネスに是非御活用ください。

- ◇内 容 行政区画図、日記編(行事予定表・日記)、住所録、東京・大阪地下鉄路線図、資料編(県内主要統計表・官庁関係資料・中四国地区共済宿舎・暮らしの各種資料)他
- ◇価 格 ポケット版(8×12cm)450円、デスク版(13×21cm) 750円
- ◇申込締切日 9月15日(金)
- ◇申し込み先 企画課(吾北総合支所地域振興課・本川総合支所産業建設課でも受け付けできます。)
- ◇申 込 方 法 申込者氏名・住所・連絡先電話番号・申込予約部数(ポケット版・デスク版)、申込金額合計を明記の上、郵送又はFAXでいの町企画課統計係(〒781-2192 吾川郡いの町1700-1 ☎ 892-0353)までお申し込みください。
- ◇そ の 他 手帳は、11月下旬に企画課(又は吾北総合支所地域振興課・本川総合支所産業建設課)で代金と引き換えにお渡しいたします。